

7-3 長基線地電位観測について

On the Observation of Geoelectric Field with a Long Electrode Span

気象研究所

地磁気観測所

Meteorological Research Institute

Kakioka Magnetic Observatory

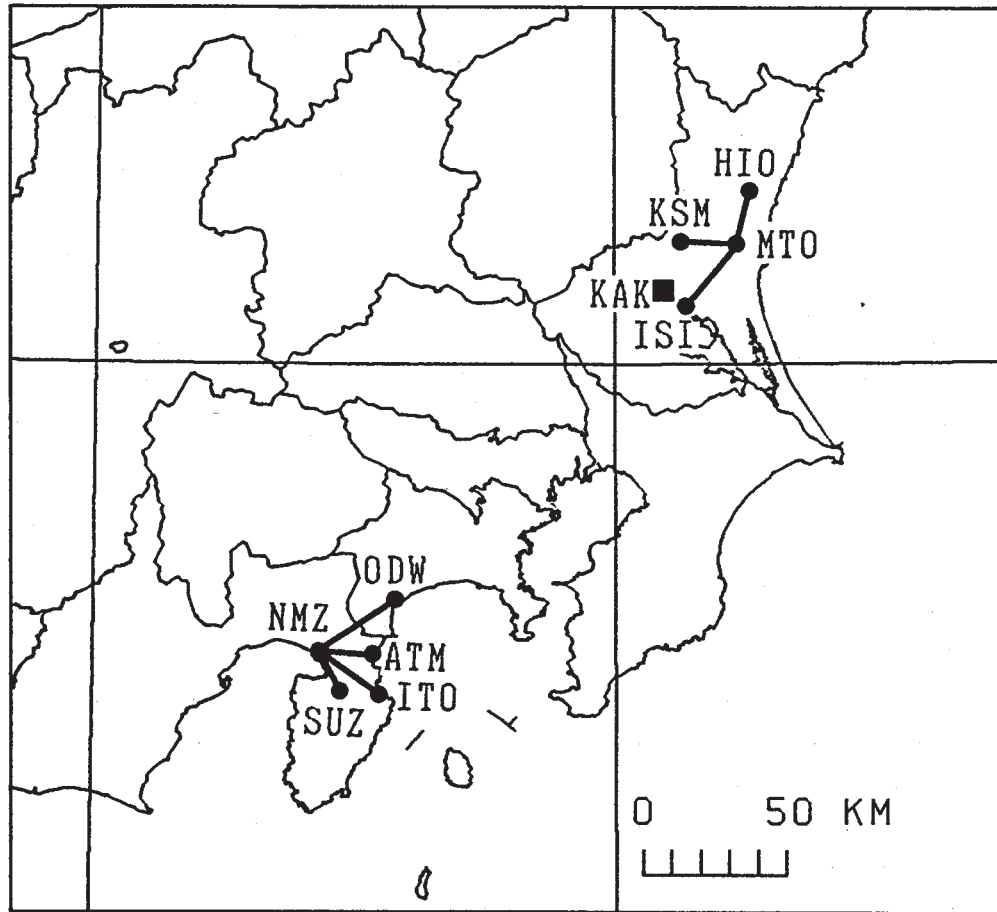
N T Tの好意により, 基線長 15 ~ 45 kmの地電位観測を行っている。水戸 (M T O), 沼津 (N M Z)を基準にして, それぞれ第 1 図の実線で接続した電話局間の電位差を測定している。従って, それぞれの観測網において, 地点相互間電位変化を計算できる。

第 2 図は沼津系統と水戸系統の地電位, 柿岡地磁気観測所の地電位, 地磁気の日平均値を示す。また, 主な出来事も記入した。沼津系統がばらついているのは大部分が人工的ノイズであると思われる。前回までに報告した (1), (2), 参照) 以外には, 特別な変化はない。

参 考 文 献

- 1) 気象研究所: 長基線地電位について, 連絡会報, **36** (1986), 382 - 384
- 2) 気象研究所: 長基線地電位について, 連絡会報, **37** (1987), 372 - 377.

36

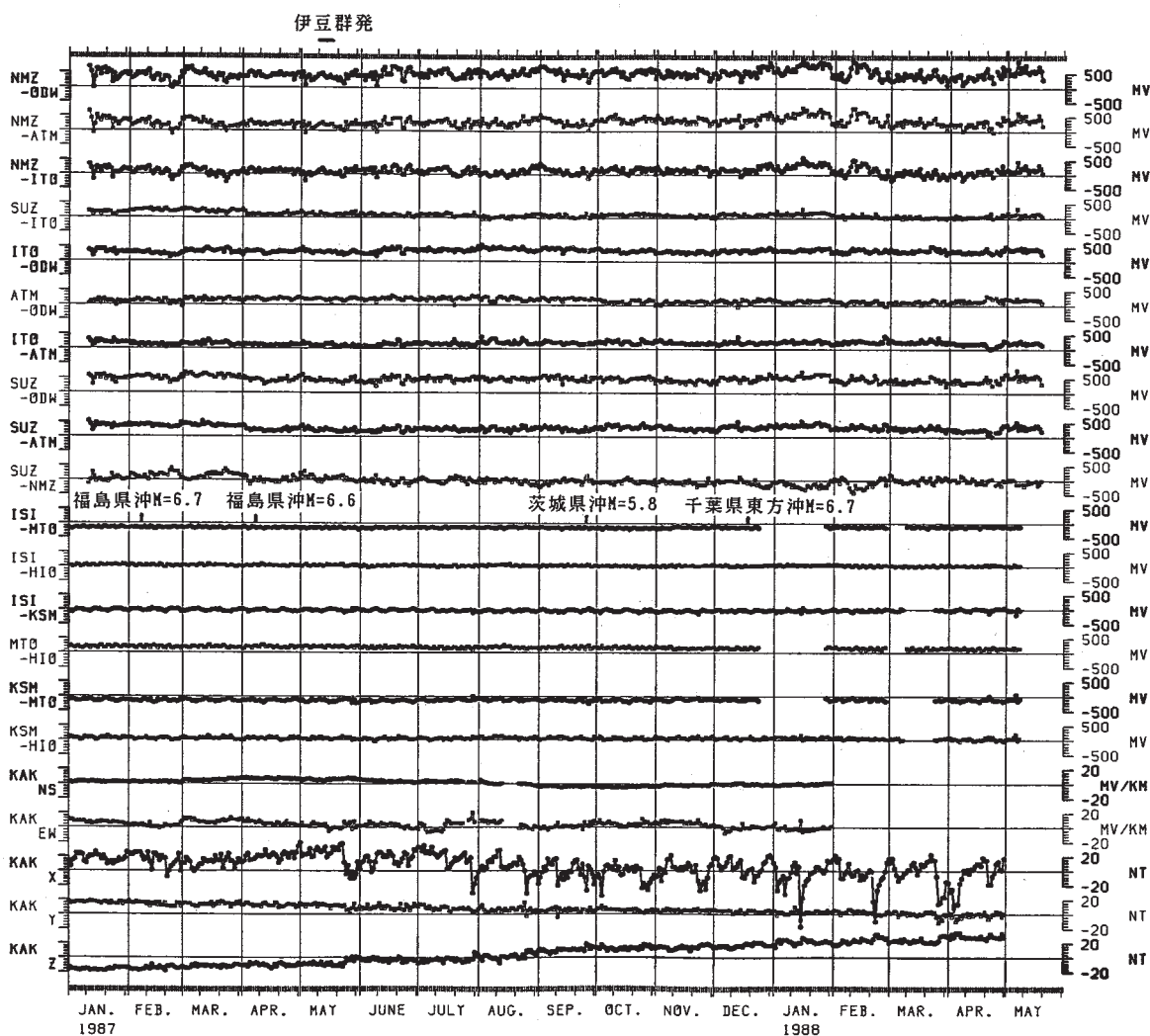


138

140

第1図 NTT地電位観測網と柿岡地磁気観測所 (KAK)

Fig. 1 Observation networks for geoelectric field and Kakioka magnetic observatory.



第2図 地電位地磁気の日平均値変動

NMZ - ODW ~ SUZ - NMZ : 沼津系統

ISI - MTO ~ KSM - HIO : 水戸系統

KAK NS, EW : 柿岡地電位

KAK X, Y, Z : 柿岡地磁気

Fig. 2 Geoelectric and geomagnetic variations in daily means.
 NMZ-ODW SUZ-NMZ : Geoelectric variations at Numazu-group.
 ISI-MTO KSM-HIO : Geoelectric variations at Mito-group.
 KAK NS, EW : Northward and eastward components of geoelectric variation at Kakioka.
 KAK X, Y, Z : Northward, eastward and downward components of geomagnetic variations at Kakioka.